

## ＜今朝の聖書から＞

村上定幸

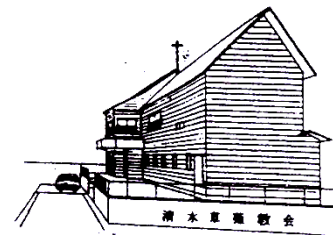
【聞きたくないこと】教会の説教ではなく、説教というと、忠告とか叱るようなことを意味することがあります。教会で行われる説教をどう理解するかについては、触れませんが、いろいろに受け止められているようです。主はここで律法の専門家に説教していらっしやいます。その言葉が、直接神様の声になっているのです。主の聞きたくないことを探し出して、議論のための議論をしようと思ったのでしょうか。10:25に“イエスを試そうとして”とあります。聞くことは益になりますが、その背後に流れている、いわゆる真理を、よくよく聞かなければならないのです。聖書は聞きたくないことも語ります。2千年前あるいはそれ以前に書かれた、私たちとは違う日常を生きた人が、異なる言葉・語意において記したものです。

【そんなこと知っている】“あなたもそのようにしなさい (10:37)”の中身というのは“復讐してはならない。民の人々に恨みを抱いてはならない。自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。わたしは主である (レビ記 19:18)”と“あなたは心を尽くし、魂を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい (申命記 6:5)”のことです。“そんなこと知っている”という声が聞こえるようですが、更に聞き入る必要があるようです。主は具体的に金額まで示しています (10:35)。2デナリオンですから、高くても数万円くらいに受け取るのがよさそうですし、サマリアの人の行なったことを、ここでは具体的に説明しています。びっくりするような金額でもありません。“そんなことができる人なんていないし、したら生きていけない”というところに立ち止まっているべきではないのです。聖書が (神の恵の) 契約の書でなくなってしまう。まず、誰だってこの“追剥に襲われた人”のように困り果てたところを、助けてもらったことがあるからです。そして解決してきました。乗り越えてきたのです。“何故この人は癒されたのか”とファリサイ派の人達が、訳を追及するのではなくて、直面していることに、益を得るために臨んだのです。

【信仰者も人間】“あまり正しくなさそうな事”を、正しいことであるかのように説得する時に“クリスチャンだって人間なんだから”という時があります。ところがこの言葉は、無限に人々を教会から離れさせて行く危険な役割も果たします。またこの言葉を使わない時には、教会に近付ける教師にもなります。私たちの教会は、メソジスト教会といいますが、そのルーツは、18世紀イギリスです。グループの中心だったウェスリは、“信仰者だって人間だ”ということをお大切にしました。“信仰を心の動きに関する問題”とはしませんでしたと言ってもよいでしょう。この世のの全分野に立ち向かう人でした。事態がまったく違う現代日本では、教会がただただ優しいところ、心地よい空間であることが求められる時があるようですが、ちょっと違うということを知るのも重要だといえます。

# 週報

2011年 8月 21日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

ユース礼拝	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042